この資料は、「猫間川源流探検記」（http://ringodo.web.fc2.com/nekomagawa.htm）の一部です。

# 水防碑

災害は忘れたころにやってくる。都島区は、これまで幾多の水害に見舞われてきたが、なかでも明治十八年（1885）の大洪水による被害は大きく、東成郡二十七カ村が水中に没した。そこで、濁水を淀川に戻すため野田村（現在の都島区網島町）の堤防を切り崩し、徐々に放流した。

近年こうした大水害はほとんど見られなくなったが、このような平時においてもなお一層人々が水防意識を高め、不断の努力で災害を防除することを祈願してこの碑を建立する。

昭和五十五年秋　　大阪市

（この資料は、筆者が現地調査をして碑文を採録ものです。）